



第762回 4月27日 立教開宗会

日蓮宗管長職
当山住職

内野日総貌下御親修

四月二十七日 午後二時より、第762回立教開宗音楽大法要が、当山住職日蓮宗管長・内野日総貌下を大導師に、副導師には二宮別當、並びに上村貞雄僧正（千葉県南部声宗務所長・両親閣妙蓮寺住職）、式衆に明師会雅楽部各聖御出仕の下、厳修されました。来賓に宗務総長御名代塙伊藤基文様

法要後には、本願人推挙式が行われ、永代特別大本願人に信育道場に於いて、同日十九時より求道同願会副会長・桐谷征一僧正を導師にお迎えし、恒例の報恩唱題を行を参籠の皆様や近隣の檀信徒、総勢五十名が参加さ

清澄

平成26年5・6月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1
© 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501

印刷所
天津(有)ブラザーアート
送料共1部100円

お知らせ

6月

27日 19:00
信行会(唱題行)

7月

21日 8:00~15:00
22日 8:00~12:00
妙見宮大祭

27日 信行会(唱題行)

8月

1日 11:00
大施餓鬼会法要
10日 1:00
盂蘭盆会法要
27日 19:00
信行会(唱題行)

唱題行

内野章子様	若月昭様
浜田和喜子様	村尾信行様
五十子孝一様	鈴木秀承様
木村擴子様	大本願人に
野間進様	の五名が当日出席下さり、 二宮別當より本願人の証書 が授与されました。

暁天法要

お題目を初めてお唱えになられた聖日。二十八日早晨の暁天法要は、旭が森まで唱題行脚をし、到着されると日蓮大聖人銅像に和讃

本院改修



お陰様で全国の御寺院・檀信徒有縁の皆様より尊い淨財が届いており、厚く御礼申し上げます。

十代別當大阪正蓮寺奥邨日鳳猊下が本院改修奉納の為に来山され、二宮別當に金三百萬円を手渡されました。

奥邨別當は今から十二年前の立教開宗七五〇年慶讚当時の別當です。猊下は、在山され

ておられた往時を懐かしく偲び、摩尼殿の虚空藏菩薩、祖師堂のお祖師様に参拝されました。しばらくじつと境内を見つめ「このお山はやはりとても良い雰囲気ですね。日蓮大聖人のおられた頃ときつと変わらない佇まいでしょう。」と感慨深く話されていたのが印象的でした。

後藤様は幕末より明治にかけて安房地方の寺社の欄間をはじめ、向拝その他御輿、屋台等数々の彫刻を施した後藤義光の流れを継ぐ門人で安房地域において活躍されております。

本紙面を借りまして謹んで御礼申し上げます。

又、山を覆う雲もなく、現れ、すばらしい暁天法要となりました。

この度、祖師堂正面にある檜材の賽銭箱が奉納により新調されました。

この日は雨の予報も発表されておりましたが、曇天の中、管内の教師、寺族、檀信徒総勢三百五十余名が主催の「いのりの日」が開催されました。

当日は、茂原、市原、木更津を出発したバスが続々と清澄寺旧道近くに到着。ここから団扇太鼓を先頭参加し登詣されました。

全員が千年杉前に集合されると、旭が森に移動し、土井所長を導師に法要が行われ、参加者は日蓮大聖人の感謝の御題目を唱えました。

にして、涕涙石から女人堂跡地旧道を唱題行進して清澄寺へ到着。

祖師堂 賽銭箱奉納



以前の賽銭箱は約二十年ほど前のもので、外にあるため傷みがはげしく、南房総市後藤義徳様より奉納の申し出を頂き、今回に至りました。

更津を出発したバスが続々と清澄寺旧道近くに到着。ここから団扇太鼓を先頭



千葉西部「いのりの日」

その後、信育道場を会場に、土井所長の挨拶、当山からは二宮別當より歓迎の挨拶があり、各部屋にて御参拝地誕生寺様へと出発されました。



希心会 登山修行

当山では、毎年四月から五月にかけて希心会（飯島一憲会長）の皆様が連日にわたり登山修行をされております。

今年も、四月七日の瀧澤
支部（瀧澤貞行副会長）を
皮切りに五月三十一日ま
で、約五千三百人の会員の

感應寺

和歌山県和歌山市感應寺（見矢龍順住職）の見矢真様と見矢輝様の度牒交付式が行われました。

感應寺の皆様は三月二十
九日昼頃に来山し、開会式
を行いました。度牒生のお
二人はとても緊張してお
り、開会式終了後、祖師堂
にて法式実習・読經試験が
行われました。



会員の皆様は、御題目が書かれた行衣を身にまと
い、お昼過ぎに山の中腹か

ら行列を組み、御旗を先頭に日蓮大聖人の歩まれた旧

道を中心に徒歩でお題目を唱えながら登山、清澄寺に到着されました。

到着されると休憩の間もなく、すぐに信育道場に集合し修行をはじめ、夜は遅くまで説法会があり、翌日は早朝暗いうちから旭が森

ら、支部によつては数百人
単位で登山修行されまし
た。

平成二十六年度、第一回
度牒交付式が四月一日から
三日かけて行われまし
た。

今回は、総勢四十一名の僧侶を目指す皆様が、度牒の交付を受け僧侶としての第一歩を踏み出しました。

師僧と共に全国各地より来山された度牒生は、受付を済ませた後、信育道場にて法式所作や読経試験を行いました。

その後、祖師堂にて明日の度牒交付式の予行練習をし、摩尼殿で当山山務員による御開帳、並びに縁起説明を受けられました。

精進料理の夕食を食べた後、千葉県南部布教隊の法

話を聴聞し、映画鑑賞をおこな
れるなど、目まぐるしいスケジュー
ルながらも、深く仏教に浸る事の出来た時間



度牒交付式

平成二十六年度

